

騒音計検査装置

TYPE 8152A



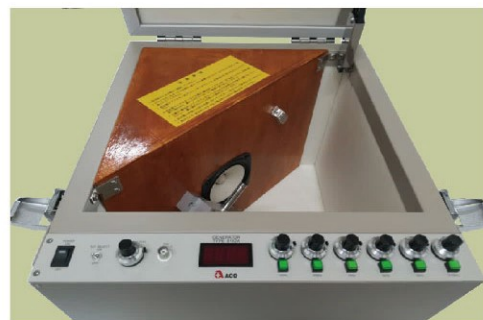
無響室や無響箱など高価な設備を必要とせずに騒音計やマイクロホンの特性が測定可能

音響結合器を採用、簡便な防音箱の使用で非常にコンパクトな検査装置の構成を実現した騒音計検査装置 TYPE 8152A は、無響室や無響箱など高価な設備を必要とせずに、騒音計やマイクロホンの特性が測定できます。JCSS にトレースした音響校正器及び、マイクロホンをサブ基準用に使用することにより、高い精度での上位標準へ整合の得られる校正が行えます。

現場へ持ち込むことも可能で、場所を選ばず、被測定マイクをセットし、簡単な操作で測定誤差の少ない校正を容易に低価格で行うことができます。

特徴

- 現場への持ち運び可能
- 無響室や無響箱など高価な設備を必要とせずに騒音計やマイクロホンの特性が測定可能
- 他社製品の騒音計も測定可能
- コンパクトな検査装置の構成を実現



構成

発振器本体 TYPE 8152A	1/2 インチプリアンプ (ケーブル1m付) TYPE 4012	スピーカーボックス
発振器用電源ケーブル2m (接地変換アダプタ付)	1/2 インチ音響結合器	スピーカー用ケーブル (1m)
防音箱 KB-4S	マイクロホン固定治具	騒音計用 L 字治具
1/2 インチサブ基準マイクロホン TYPE 7012	マイクロホン用ケーブル (1m)	騒音計用ケーブル

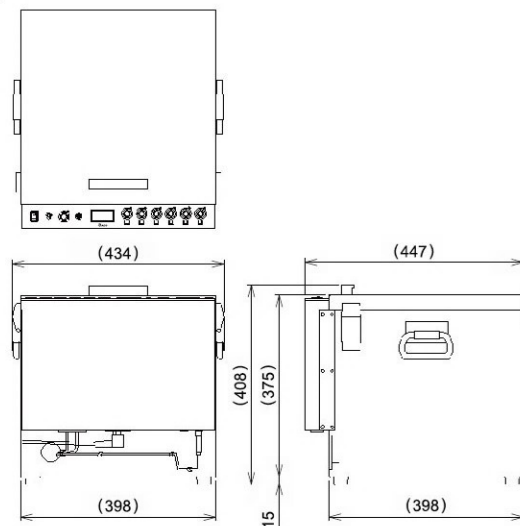
仕様

発振部	
発振周波数	100Hz、400Hz、1kHz、2kHz、3kHz、4kHz の単独
個別レベル調整	発振周波数毎に個別設定 ロック式多回転ボリュームにて調整可能
個別周波数精度	設定周波数の $\pm 0.05\%$ 以内 ($20^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$)
個別レベル精度	設定レベルに対し $\pm 0.1\text{dB}$ ($20^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$)
出力電圧	最大 AC 1Vrms
出力歪率	1% 以下
出カインピーダンス	180 Ω
出力端子	BNC コネクタ (背面; OSC OUTPUT)

増幅部	
測定範囲	60 ~ 130dB
マイクロホンバイアス電圧	200V
入力端子	レモコネクタ
入カインピーダンス	56k Ω
出カインピーダンス	560 Ω
校正信号	内蔵発振器による電氣的校正 (1kHz 正弦波)
出力電圧	AC 1Vrms (フルスケール)
表示器	液晶表示 数字表示 4 桁 (LED)
分解能	0.1dB
出力端子	BNC コネクタ (背面; SOUND OUTPUT)

共通仕様	
動作温度範囲	+10 $^{\circ}\text{C}$ ~ 50 $^{\circ}\text{C}$ 、90% 以下 (但し結露無きこと)
電源	AC100V 50/60Hz (30VA 以内) $\pm 10\%$
重量	約 10Kg
寸法	398 (W) \times 398 (D) \times 400 (H) ※突起物除く

外観図



ホームページ URL <http://www.aco-japan.co.jp/>


 明日のニーズに挑戦し続ける
株式会社 アコー
 東京営業所 / 東京都八王子市大塚85-1 〒192-0352
 TEL0426-76-4661(代) FAX0426-76-5333
 工場 / 宮崎県西諸県郡高原町蒲牟田1-8 〒889-4414
 TEL0984-42-4499(代) FAX0984-42-0344

ACO CO.,LTD 85-1 OHTSUKA,HACHIOJI CITY,TOKYO,192-0352 JAPAN PHONE 0426-76-4661 FAX0426-76-5333

